

「みんなの未来区 BONJONO(ボン・ジョーノ)」 -シェアタウン プロジェクト-

■取組主体

一般社団法人城野ひとまちネット

■活動場所

福岡県北九州市

■概要

環境先進都市として世界的にも認知されている北九州市において、環境配慮型のまちづくりのリーディングプロジェクトに位置付けられている。

住民、事業者、周辺地域が場と活動をシェアしてタウンマネジメントを推進する仕組みを構築し、シェアタウンの取り組みにより地域再生を行うことを目指して活動が行われ、さらに、外部のまちづくり専門家や学識経験者からなる「タウンエディター」と連携し適宜アドバイスを得ながら取組みが進められている。

ゼロカーボンタウンの構築を住民主体で進め、さらにはシェアリング時代の新たなベッドタウンのあり方を提示するといった点が先進性に優れており、環境・コミュニティ形成という都市課題解決の新たなモデルとして、日本のみならず世界に対する示唆となりうる。また、タウンエディターによる「共同編集型のまちづくり」という発想もユニークであり、全員参加型のタウンマネジメントをサステナブルなモデルで実現している点も高く評価した。さらに、街づくりの手法としても、街区ごとに異なる事業者と組んで街づくりを進めるといった公民連携の新しい形が採用されており興味深い取組みである。



BONJONO の活動の様子



BONJONO 住宅街区